

助け合いの力が 日本を救う

「都市間支援」で 大災害に立ち向かう!

日本各地で災害の発生が続く中
地域を越えた「助け合い」が
なくてはならない力になっています。
自治体相互の応援に
市民・団体・学生などの支援も加わり
様々なレベルで支援力を高めながら
将来の災害に備えることの大切さを話し合います。

カウンターパート支援

受援計画

寄り添い支援



地下鉄東西線が便利です
「国際センター駅」下車すぐ

日時 2017年 **4/26(水)** 14:00~16:30
<開場13:30>
会場 仙台国際センター 展示棟展示室1
参加費 **無料**
※公共交通機関をご利用ください。

申込必要 4/19(水)〆切

◇ 要約筆記の表示あり ◇ 手話・託児の希望を承ります
※申し込み方法は裏面をご覧ください。※公共交通機関をご利用ください。

基調講演

過去の大震災と 来たるべき巨大地震

一人と技術・情報の備え一



東北大学
災害科学国際研究所所長
津波工学研究分野教授

今村 文彦

パネルディスカッション
コメンテーター

パネルディスカッション

これまでの大災害の経験と教訓を踏まえ、今後の都市間支援、受援のあり方を議論するとともに、市民・民間セクターによる支援活動の方向性を探ります。



コーディネーター

河北新報社
防災・教育室長

武田 真一



(一財)ダイバーシティ研究所
代表理事

田村 太郎



神戸市長

久元 喜造



仙台市長

奥山 恵美子

ゲスト発表(活動紹介) 東北大学学生ボランティア